

扇風機之首振りを自在に操作する 振子運動角度調整装置

涼しく、快い風をつくり出すために、扇風機は種々の機構が考案されてきた。首振り機構もその一つである。この首振り機構を、扇風機が持ったのは30年前のことで、すでに扇風機の常識にさえなっているが、振子運動時において0度から任意の角度まで自在に操作できるのは日立扇風機をおいてない。

この種の装置は、従来、振子体の後頭部に設けられた振子装置のクランク部を調整して角度操作をしていたが、これでは振子を停止しないと調整ができなかった。

本特許の振子運動角度調整装置は、この点の改良に着眼して発明されたもので、回転軸、スライダ、連桿（ロッド）、クランクの4節から成る4節リンク機構をとっているのが特長である。

交差した二つの長溝に挿入したクランク軸の動きに応じ、ダブルスライダークランク装置と連桿につながる振子体の回転軸の連桿軸に対する距離が周期的に変化するようにになっている。

これによって振子運動の角度を0度から任意の角度まで自由に操作できるのである。

写真は、扇風機のカバーをとって、組込まれた振子運動角度調整装置を示したものである。

この装置はユニット構成になっており、シンプルで組立てが容易であり、数少ない部品で複雑な動きができる点など、本発明の扇風機の機能向上に寄与したところは非常に大きい。

「振子運動角度調整装置」特許第444157号

日立製作所ではすべての所有特許権を適正な価格で皆さまにご利用いただいております。

ご希望の場合は下記までご連絡ください。

問合先：日立製作所本社特許部

電 話：東京（03）270-2111（大代）

住 所：東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビル）〒100

